

HANYU カメラさんぽ



あきらめないで
ファイト!

12月13日(日)

市体育館で、市内から38チーム、計367名が参加して羽生市綱引選手権大会が開催されました。各チームともユニホームや手作りのコスチュームで登場。笑いあり、技あり、涙ありと、参加者全員で綱引きを楽しみました。

おめでとうございます



12月8日(火)

羽生地区安全運転管理者協会が、36年にわたる功績や高齢者への割引タクシー制度をいち早く導入したことなどが認められ、交通安全対策担当大臣から表彰を受けました。これからも、安全で平穏なまちのためによりよくお願いします。

ありがとうございます



11月26日(木)

羽生領利根川水防団長の西田哲三さん(稲子在住)が、利根川の水害を幾度となく未然に防いだ功績などが認められ国土交通大臣から水防功労者表彰を受賞しました。水防団員として34年の勤続、ありがとうございます。

たくさんのご利益を!

12月25日(金)



天神社(東5丁目)の境内で「酉の市」が行われ、色とりどりの見事な熊手が勢ぞろい。会場では威勢のいいかけ声に、縁起かつぎの三々拍子が響き渡っていました。

大きな真っ白なハチの巣!



12月16日(水)

大天白神社(北2丁目)で直径50cmもある大きなハチの巣が出現。この巣の色は珍しく真っ白、ミツバチのような小さなハチが作ったようで、人には危害はないそうです。地元では、縁起のいい巣として大切に見守っていきたくと話していました。

長生きの秘訣はこの一杯!



12月25日(金)

森田常夫さん(上新郷在住)が、清和園へそば慰問に訪れました。この慰問も今年で39回目。素材からこだわったおいしいおそばに、園の皆さんは体も心も温まり笑顔でいっぱいでした。

市内のイベントに
ムジナモンの仲間たちを登場させよう!

ムジナモンの仲間たち着ぐるみ募金にご協力を!



平成19年5月に皆さまの募金によりデビューした「ムジナモン」と「いがまんちゃん」という大人気の着ぐるみがあります。そのほかにも「いたっち」「ザリガニ博士」「イナゴージャス」「フナどん」「しらさぎ婦人」といった仲間たちがいます。ムジナモンやいがまんちゃんと同様に、仲間たちにも親しみをもってもらいたいと思い「ムジナモンの仲間たち」の着ぐるみを製作したいと考えています。市の施策である観光交流人口100万人を目指すために、観光PRの推進役として「ムジナモンの仲間たち」を市内外に登場させましょう。ぜひ、たくさんの方々のご協力をお願いします。

募金期間 平成22年4月16日(金)まで
製作費用 250万円(ムジナモンの仲間たち: 5体)
募金箱の設置場所 羽生市役所1階ロビー
 市民プラザ1階商工課カウンター
問い合わせ 企画課地域ブランド推進係(内線385)

正月休みもあっという間に過ぎ、ズボンがちょっときつく感じるのは気のせいかなと思いつつ仕事始めに出勤。翌日の服でも、やっぱり同じ。お餅を食べ過ぎた効果が早くも出てきたようで、ちょっと緩んだ体とともに、気持ちも緩み過ぎないように気を付けようと思っています。新年を迎え、広報の編集に取り組み始めましたが、今年は忙しいときでも心にゆとりを持って仕事をしたいと思っています。市の情報をはじめ大切な情報を皆さんにお伝えする広報の役割を再認識し、読みやすい広報紙づくりに努めますので、今年もご愛読よろしくお願いいたします。



市役所ロビーに展示してありました藍染めの作品が、2月15日までの約1ヵ月間、イオンモール羽生の中央エントランスに展示されています。この作品は市職員創作展実行委員が60mもある反物を藍で染めて製作、市役所ロビーでは東西約15mにワイヤーを張り、藍で絞染めをしたいろいろな模様の布とムジナモンなどのキャラクターたちが藍染めのパラシュートで楽しそうに飛んでいる様子を飾りました。今、この作品はイオンモール羽生の明るい吹き抜けに見事に展示され、藍ならではのインディゴブルーがとても美しく感じられます。ぜひ、この機会にご覧ください。